



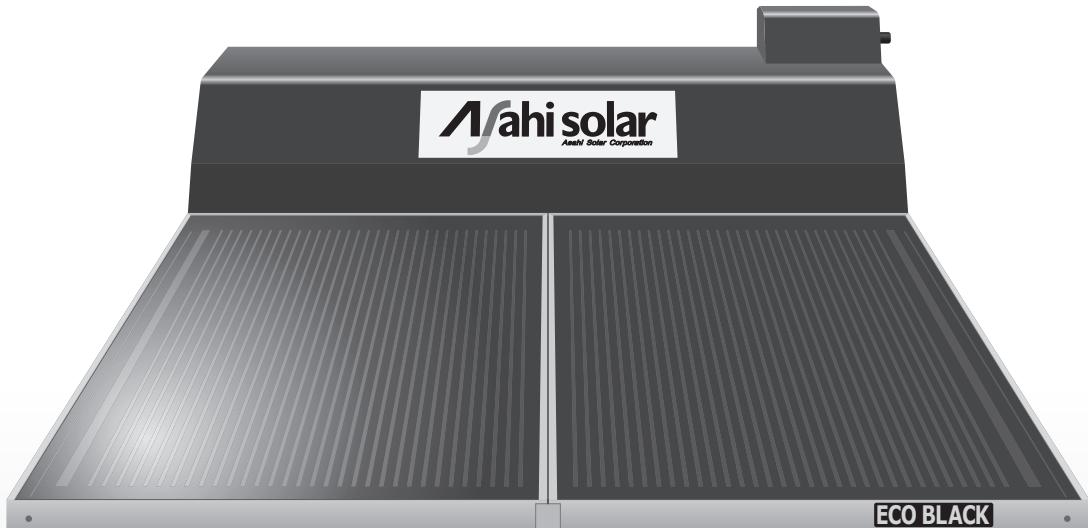
自然循環形 太陽熱温水器

取扱説明書

形式

AS-230EBK

保証書別添付



お買い上げありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は大切に保管し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入されていることを必ず確認してください。
- 製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

もくじ

ページ

ご使用の前に

| | |
|----------------|---|
| 取扱説明書をお読みになる前に | 2 |
| 特に注意していただきたいこと | 3 |
| 各部の名称(外観図) | 4 |
| ご使用前の準備 | 5 |

基本の使いかた

| | |
|----------|---|
| 使用方法 | |
| (自動給水方式) | 6 |
| (使い切り方式) | 7 |

必要なときに

| | |
|-----------------------|-----|
| 冬期の凍結による破損防止について | |
| (凍結予防) | 8 |
| (再使用するとき) | 8 |
| 長期間使用しない場合 | 8 |
| 日常の点検(点検の必要事項、時期、方法) | 9 |
| 定期点検 | 10 |
| 故障かな?と思ったら(修理を依頼する前に) | 10 |
| 部品交換について | 10 |
| 使用しなくなった場合 | 10 |
| 仕様 | 11 |
| アフターサービス | 裏表紙 |

取扱説明書をお読みになる前に

困ったときは?

凍結のおそれがあるときは
どうしたらいいの?

▶ 8ページ

日常の点検は
どうしたらいいの?

▶ 9ページ



故障かな?と思ったら
▶ 10ページ

特に注意していただきたいこと

- 本書では、人への危害や財産への損害を未然に防止するため、安全に関する重要な内容を次のように分類して記載していますので、必ずお守りください。



人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容です。



人が軽傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容です。

- お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



禁止
「してはいけない」内容です。



実行
「しなければならない」内容です。

ご使用の前に

基本の使いかた

必要なときに



●お客様ご自身が屋根に上がらない

ステンレス線や機器につまづいたり、足を滑らせたりして屋根から転落する危険性があります。



積雪・台風・強風・地震時の注意

●積雪時は機器を設置している軒下を通らない

積もった雪が一度に落ちてけがをする原因になります。



●積雪が50cmを超えた場合は、雪下ろしを専門業者に依頼する

お客様ご自身で行うと屋根から転落する危険性があります。



●機器の固定を確認する

積雪・台風・強風が予想されるときや地震の後は、機器を固定しているステンレス線・固定金具・コチねじ・取手を地上から目視で確認してください。地上から確認できない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。切れたり、緩んだり、腐食や老朽化により機器が落下する危険性があります。



●地震が頻発しているときは以下に従う

- ・「凍結予防」に従って水抜きをする。[8ページ](#)
機器が重いと地震の揺れでステンレス線に負担がかかり、機器が落下する危険性があります。(台風や強風時は除く。)
- ・機器を設置している軒下を通らない。
機器が落下する危険性があります。



●台風や強風が予想されるときは、貯湯部を満水にする

機器が軽いと強風でステンレス線に負担がかかり、機器が落下する危険性があります。



高温注意

●お湯を出しているときに混合水栓に手を触れない

やけどの原因になります。



●入浴時やシャワー使用時は必ず手でお湯の温度を確かめる

やけどの原因になります。



●太陽熱温水器のお湯(水)は飲用したり調理に使用したりしない

入浴や雑用水として使用してください。飲用したり、調理に使用したりすると健康を害するおそれがあります。



●長期間不在にする場合は、貯湯タンクを満水状態にする

軽い状態は強風の影響を受けやすく、それを起こすおそれがあります。
長期間使用しないと貯湯タンクにたまっている水が変質する事があるので、「[長期間使用しない場合](#)」に従ってください。[8ページ](#)



●修理技術者以外の人は分解したり、改造はしない

落下やけがのおそれがあります。



●設置・移設・修理について

設置・移設・修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。お客様ご自身で行うと事故の原因になります。



●使用しない太陽熱温水器は屋根から降ろす

お買い求めの販売店に依頼してください。



特に注意していただきたいこと

⚠ 注意

使用上の注意

●純正部品以外は使用しない

事故防止のため当社純正部品以外は使用しないでください。事故の原因になることがあります。



●上水道を使用する

給水には上水道を使用してください。
これ以外の液体(温泉水など)の加熱には使用できません。腐食やつまりを起こして故障の原因になることがあります。



●給湯器との接続について

接続できない給湯器がありますので、お買い求めの販売店に確認してください。



●凍結に注意

冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。8ページ
凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。



●水漏れに注意

以下の内容を地上から目視で確認し、該当する場合はお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

- ・機器に接続されている配管や接続部から水漏れしている。
- ・雨樋に常時水が流れている。
- ・機器周辺の屋根が常時濡れている。

(貯湯タンクが満水になるとオーバーフロー)
(口から一時的に水が出ることがあります)
(これは水漏れではありません)



●給湯栓を開けて、水が出ることを確認する

貯湯タンクに水が入っていないと空だきの原因になることがあります。



●家庭用以外の使用禁止

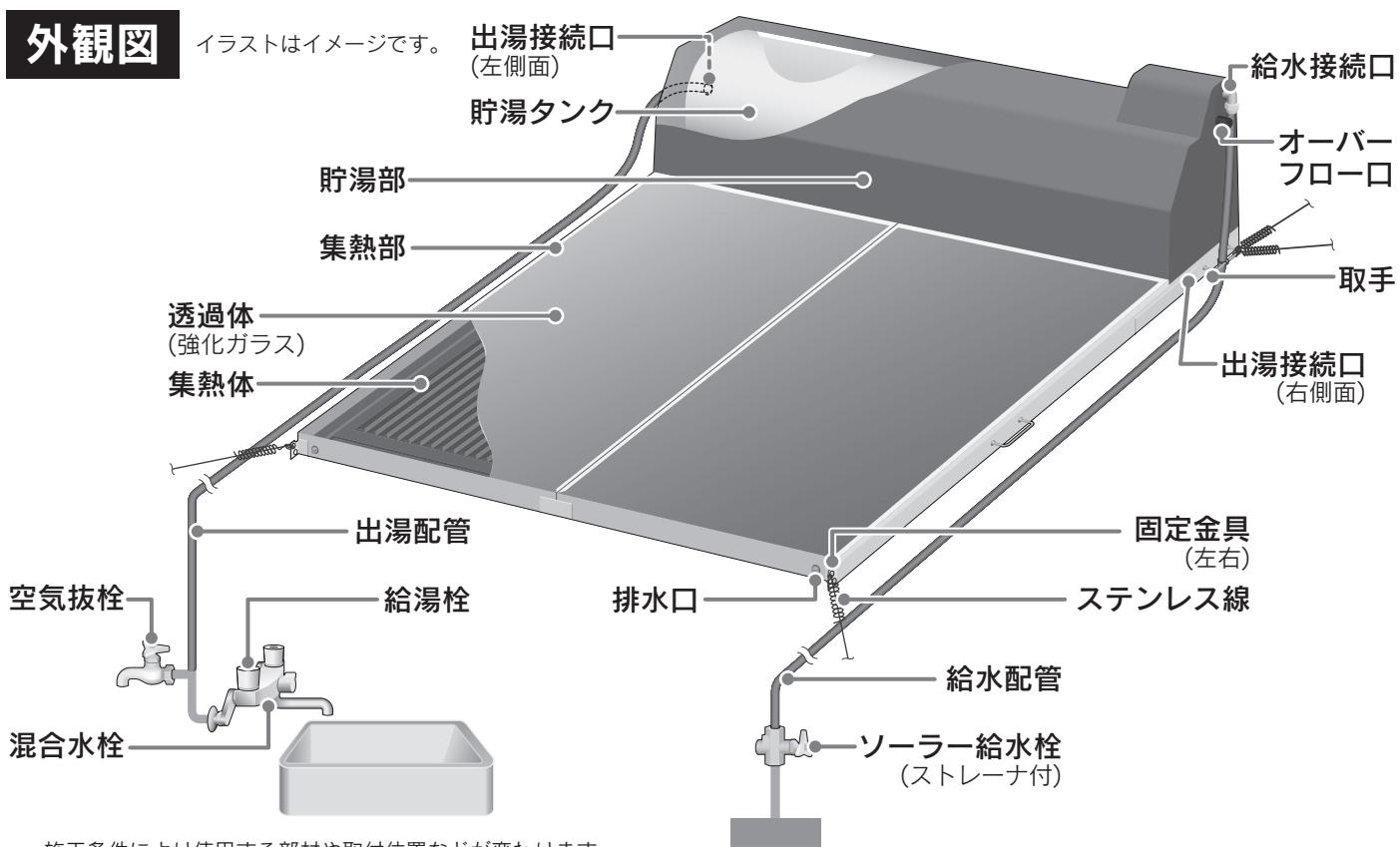
この機器は家庭用です。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。



各部の名称

外観図

イラストはイメージです。



施工条件により使用する部材や取付位置などが変わります。

ご使用前の準備

太陽熱温水器をはじめて使用するときは、貯湯タンクを満水にしてください。

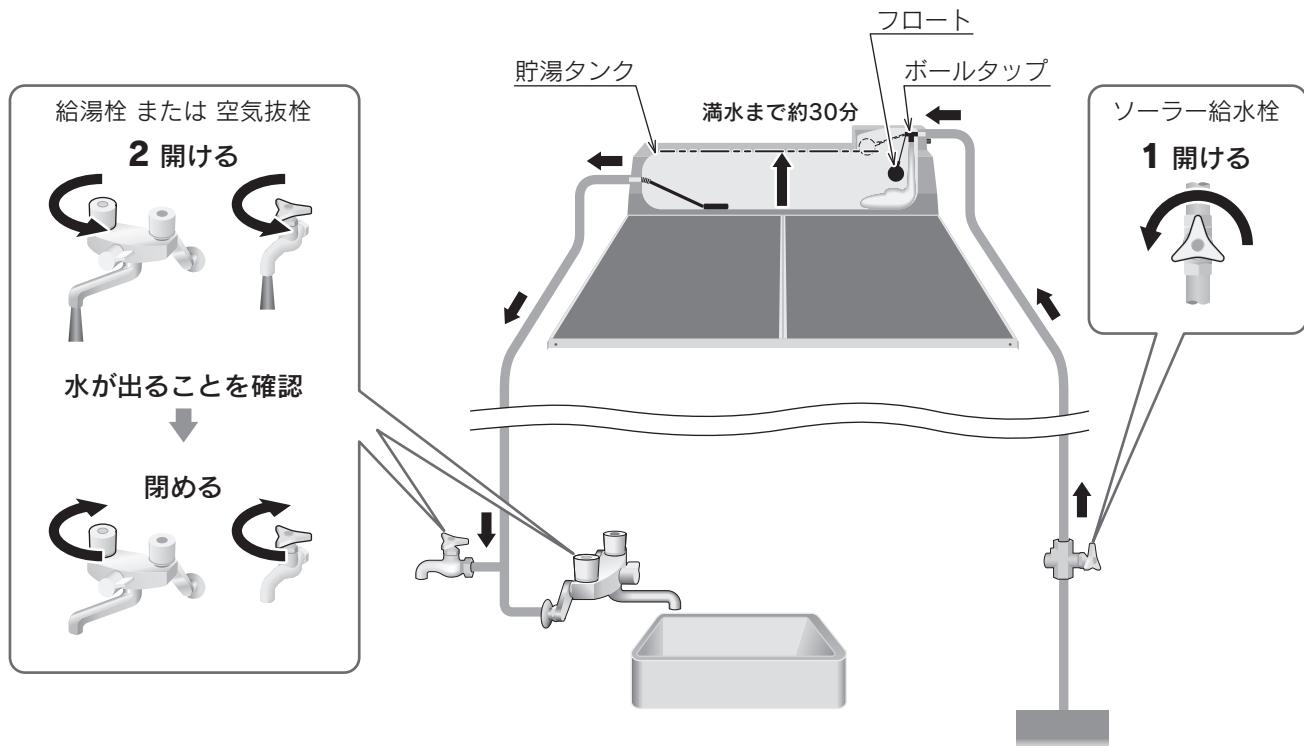
1 ソーラー給水栓を開け、貯湯タンクに水をためる

満水になるまで約30分かかります。

(ソーラー給水栓からの水は、ボールタップを通過して貯湯タンク内に給水されます。)

(フロートが満水位置まで浮き上がると、ボールタップが自動的に給水を停止します。)

2 給湯栓または空気抜栓を開け、水が出ることを確認して閉める

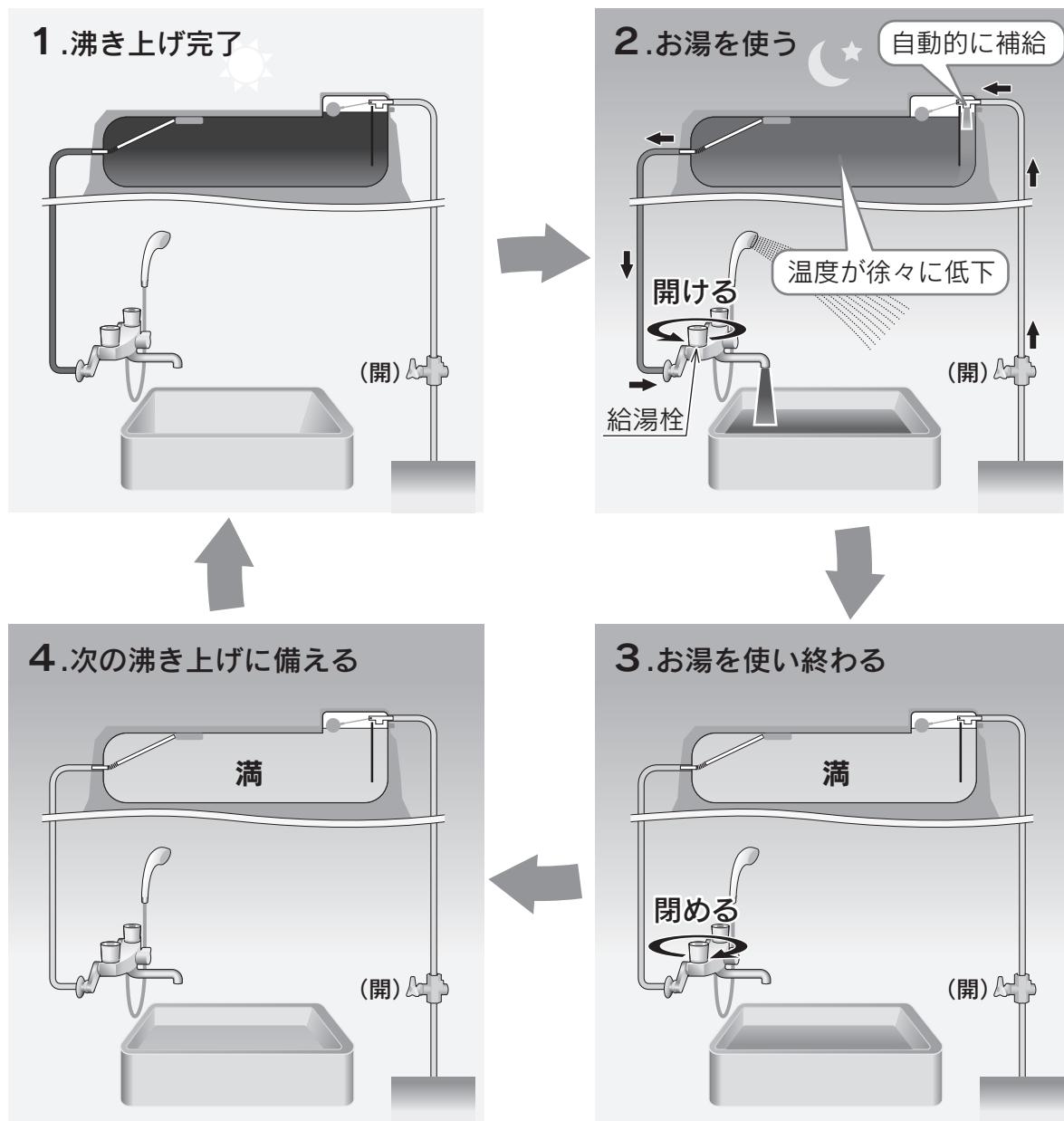


使用方法

沸き上がり温度が高い夏場など、水を足して使用する場合におすすめします。

自動給水方式 沸き上がったお湯を使用すると自動的に水道水が補給され、貯湯タンクは常に満水状態を保ちます。
お湯の温度は徐々に低下し、大量に使用すると水になります。

●給湯栓の開け閉めのみで使用できます。



沸き上がり温度が低い冬場など、沸いたお湯を有効に使用する場合におすすめします。

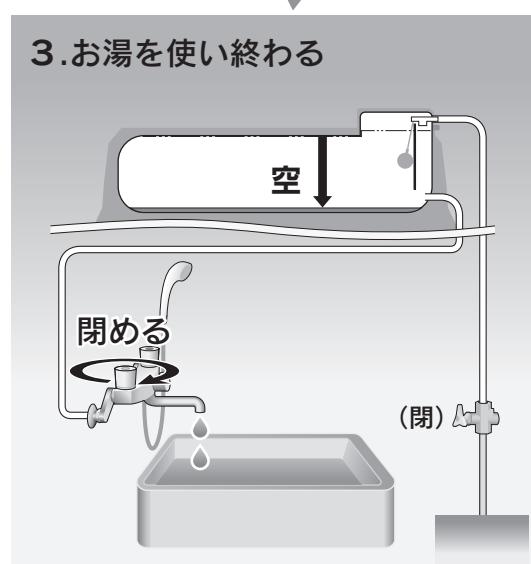
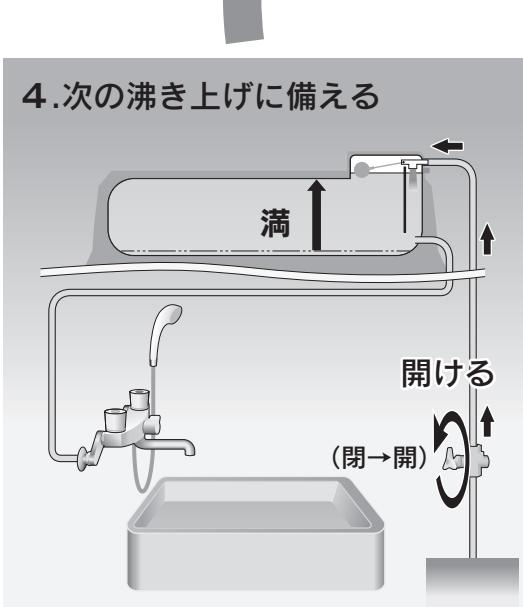
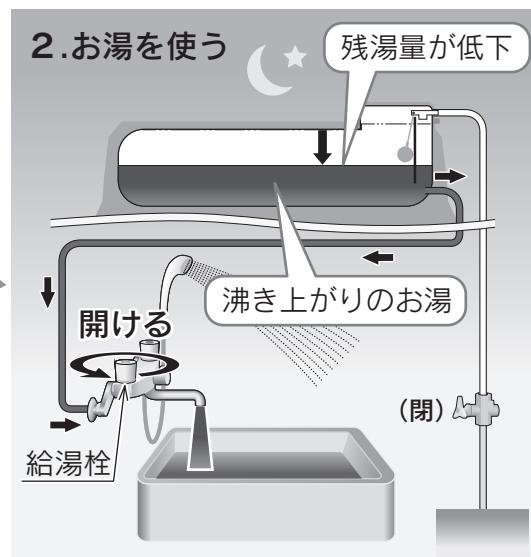
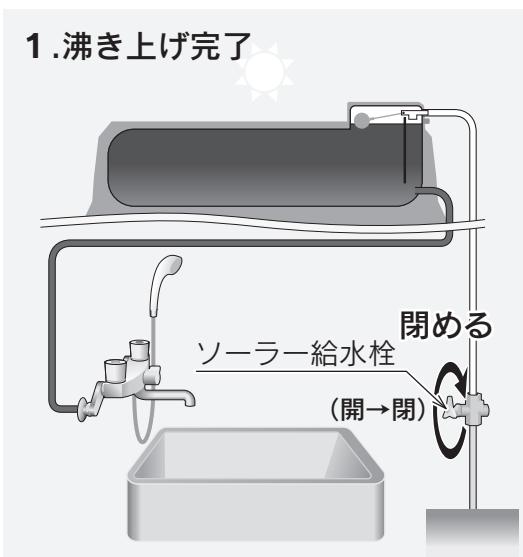
使い切り方式

沸き上がったお湯を使用しても水道水は補給されず、最後まで沸き上がり温度のお湯^(※)が使用できます。

使用後はソーラー給水栓を開けて、貯湯タンクを満水にする必要があります。

※沸き上がったお湯も上層と下層では温度差があります。また、貯湯タンク内で放熱しますので、時間の経過とともに温度は低下します。

- はじめにソーラー給水栓を閉めてから、給湯栓を開け閉めして使用します。
- その日お湯を使い終わった後は、必ずソーラー給水栓を開けてください。



冬期の凍結による破損防止について

凍結予防

- 冬期には急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがありますので、凍結予防の処置を行ってください。
(凍結により機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料になります。)

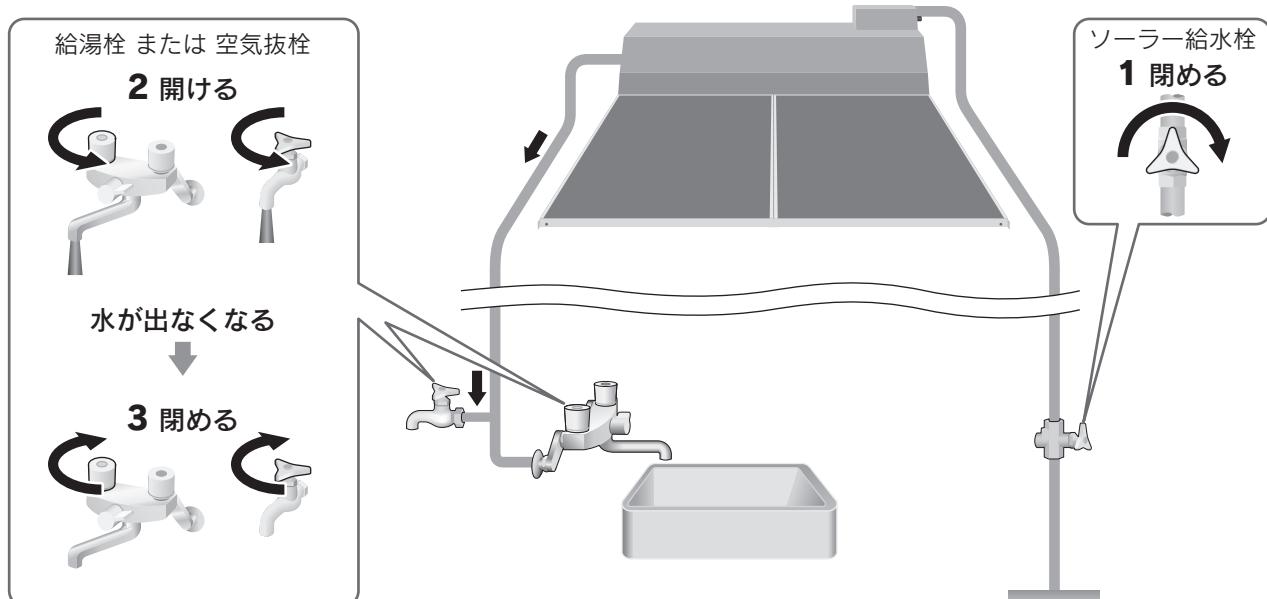
⚠ 警告

- 給湯栓を開けたときは、出始めの温度が低くてもしばらくすると熱湯になることがあります。
手や足などにかかるないように注意してください。

1 ソーラー給水栓を閉める

2 給湯栓または空気抜栓を開けて、貯湯タンクの水(お湯)を排水する

3 水が出なくなったら、2で開けた給湯栓または空気抜栓を閉める



再使用するとき

- 再使用するときは「ご使用前の準備」に従ってください。 [5ページ]

長期間使用しない場合

- 長期間使用しないと貯湯タンクにたまっている水が変質することがあります。
「冬期の凍結による破損防止について」の「凍結予防」に従って水を抜き、その後、「ご使用前の準備」に従って給水を行ってください。 [5・8ページ]

日常の点検

⚠ 警告

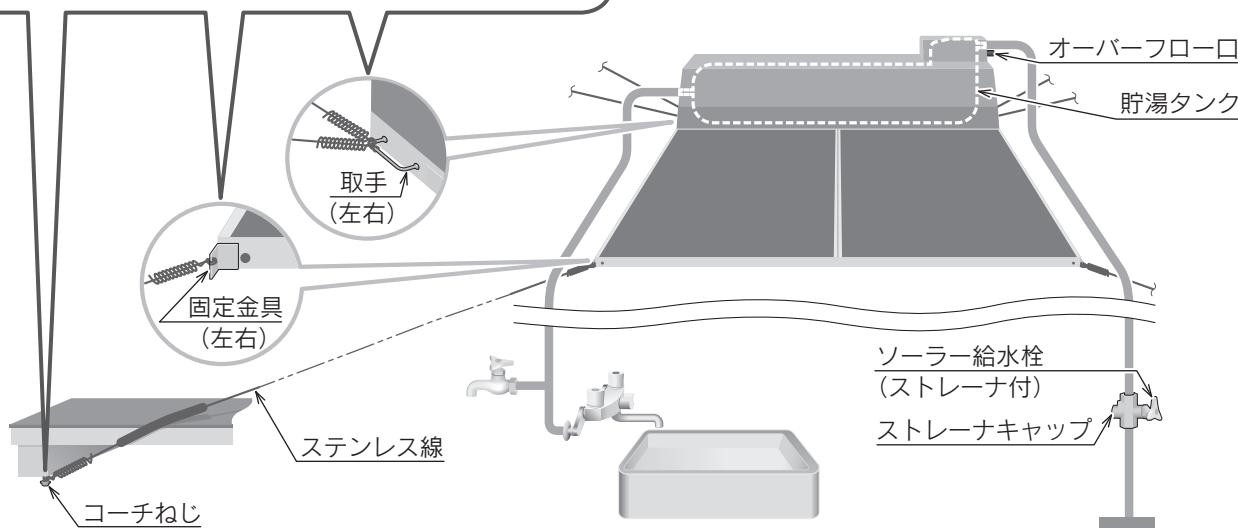
- お客様ご自身が屋根に上がって点検しないでください。ステンレス線や機器につまづいたり、足を滑らせたりして屋根から転落する危険性があります。
- 給湯栓を開けたときは、出始めの温度が低くてもしばらくすると熱湯になることがあります。手や足などにかかるないように注意してください。

点検の必要事項、時期、方法

積雪・台風・強風が予想されるときや地震の後

機器の固定確認

- 機器を固定しているステンレス線・固定金具・コチねじ・取手を地上から目視で確認してください。地上から確認できない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。切れたり、緩んだり、腐食や老朽化により落下の危険性があります。



適時に

水漏れ

以下の内容を地上から目視で確認し、異常がある場合はお買い求めの販売店に点検を依頼してください。

- ・機器に接続されている配管や接続部から水漏れしていないか。
- ・雨樋に常時水が流れていなか。
- ・機器周辺の屋根が常時濡れていないか。

(貯湯タンクが満水になるとオーバーフロー口から一時的に水が出ることがありますが、これは水漏れではありません。)

積雪時

積雪が50cmを超える場合

- 雪下ろしを行ってください。
雪下ろしはお客様ご自分で行わず、専門業者に依頼してください。

ストレーナ(フィルタ)の掃除

- ボルタップのゴミかみを防止するために、ソーラー給水栓にストレーナが付いています。
長期間使用するとストレーナにゴミがつまることがありますので、以下の手順に従い掃除を行ってください。

1. ソーラー給水栓を閉める。
2. ストレーナキャップをはずし、ストレーナを掃除する。
※ストレーナキャップをはずすときに配管内に残った水が出ることがあります。
3. ストレーナキャップを取付ける。
4. ソーラー給水栓を開ける。

機器内の水の入れ替え

- 機器内に水あかやゴミがたまることがありますので、水の入れ替えをしてください。

水の入れ替えは集熱部の排水口から直接排水する必要がありますので、お買い求めの販売店に依頼してください。

定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要になります。
- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は定期点検を受けることをおすすめします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。
(定期点検は有料です。)

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に

次のような場合は故障ではありません。修理を依頼する前にもう一度確認してください。

| こんなときは | | 確認してください |
|--------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------|
| オーバーフロー口からときどき水が出る | | ●貯湯タンクが満水になるとオーバーフロー口から水が出ることがあります。 |
| お湯が出ない | 自動給水方式 | ●ソーラー給水栓を開けていることを確認してください。 ●凍結していないことを確認してください。 ●空気抜栓を開け、水が出ることを確認してください。 |
| | 使い切り方式 | ●ソーラー給水栓を開けていることを確認してください。 ●凍結していないことを確認してください。 |
| 給水されない | | ●断水していないことを確認してください。 |

部品交換について

故障して修理(部品交換)が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください

- 部品は必ず当社純正部品を指定してください。
- 故障したままで使用しないでください。

使用しなくなった場合

- ご使用にならなくなった太陽熱温水器は屋根から降ろしてください。
お買い求めの販売店に依頼してください。
そのまま放置しておくと、機器が落下する危険性やけがのおそれがあります。

仕様

| | | |
|-----|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 形式 | | AS-230EBK |
| 種類 | | 自然循環形 |
| 集熱部 | 総面積 (m ²) | 3.0(1.5×2) |
| | 標準設置角度 | 25~35° |
| | 質量 (kg) | 53(26.5×2) |
| | 外形寸法(1枚) (mm) | 高さ 62 幅 1,000 奥行 1,500 |
| | 材質 | 集熱体 特殊ステンレス鋼板 透過体 半強化ガラス 保温材 発泡スチロール 外装材 冷間圧延ステンレス鋼板 |
| | 容量(集熱部含む) (L) | 228 |
| | 質量 (kg) | 27 |
| 貯湯部 | 外形寸法 (mm) | 高さ 655 幅 2,008 奥行 515 |
| | 配管接続部口径 | 給水接続口 G1/2(15A) 出湯接続口(右) Rp1/2(15A) 出湯接続口(左) Rp1/2(15A) 排水口 Rp1/2(15A) オーバーフロー口 R3/4(20A) |
| | 材質 | 貯湯タンク 高密度ポリエチレン 保温材 発泡スチロール 底材 冷間圧延ステンレス鋼板 外装材 冷間圧延カラーステンレス鋼板 |
| | 満水時総質量 (kg) | 309 |

ご使用の前に

基本の使いかた

必要なときに

アフターサービス

修理を依頼するとき

- 「故障かな？と思ったら」**10ページ**をもう一度確認していただき、直らないときは、
お買い求めの販売店にご連絡ください。

| | | | |
|--------|---|---|---|
| お買い上げ日 | 年 | 月 | 日 |
| 販売店名 | | | |
| 電話番号 | | | |

※お買い上げ時に **■** の欄に必要事項をご記入ください。

- 修理を依頼するときは、お買い上げ日と右の内容をお知らせください。
- 修理料金は①技術料+②部品代+③出張料などで構成されています。
①診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。
②修理に使用した部品代金です。
③製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

| | |
|---------------------|-------------------|
| 品 名 | Asahi自然循環形 太陽熱温水器 |
| 形 式 | AS-230EBK |
| 故障の状況 | できるだけ詳しく |
| お名前・ご住所・電話番号・訪問ご希望日 | |

保証・修理について

- この機器には「保証書」がついています。
正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定に従って修理いたします。お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 家庭用の給湯以外の特殊な使用方法での不具合発生につきましては、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- 凍結や析出物(炭酸カルシウムなど)による故障の場合は、保証期間内でも有料になります。

転居または機器を移設するとき

- 転居するときはお買い求めの販売店にご相談ください。
- 移設はお買い求めの販売店に依頼し、お客様ご自身で行わないでください。

補修用性能部品について

- 補修用性能部品の保有期間は、この製品の製造打ち切り後10年です。
性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。



大分本社 / ☎870-0844 大分県大分市古国府1003-2
TEL:097-546-7500(代) FAX:097-546-7555
URL:<http://www.asahisolar.co.jp>

修理・その他ご不明な点等ありましたらご連絡ください。

お問い合わせ先は

フローハサイマー
0120-268-315

24時間365日オペレーターが受付いたします。

販売店